

つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書（令和3年度）2021年

活動日時	月	日	曜日	開始	終了	場 所	会員参加数
	6	22	火	9 : 30	11 : 30	藤金市民の森	10名
活動名称	藤小 野外学習支援					報告者：吉井 優	

1、活動目的

6年前から依頼されて実施している藤小3年野外学習支援を今年も依頼されました。昨年はコロナの影響で、秋のみ開催しましたが、今年は6月から実施となりました。小学生が樹林地や河川の里山環境と触れ合うことで、生態系サービスを実感し、未来に向けて鶴ヶ島地域の生態系サービスを増大してくれることを期待します。

2、活動内容ほか

今年の3年生は、複数のチームに分かれて、テーマを決め、知識を広げる活動を行っているようで、テーマ別に、スタッフを配置してほしいようだった。それなりの生き物に関する知識を持った4名で対応しようと思っていたが、作戦がもろくも崩壊した。子どもたちは、チームに分かれ、自分たちの希望するスタッフと、それぞれのテーマに合わせて、市民の森を探索し、調査・研究活動を楽しんだ。

3、評価：

当初の目論見は外れたが、里山クラブのスタッフが、臨機応変に対応してくれて、それなりに恰好はついたようで、子供たちは、市民の森を走りまわり、満足そうではあった。

4、課題

先生との打ち合わせでは、鶴ヶ島の生き物に関する知識を教えられる人材は、少数のため、森に子どもたちを集めて、4グループで対応するつもりだったが、細かく分かれることになった。次回は、学校の要望をよく聞き、要望に応えたいが、全部のテーマごとに対応するには人材不足なので、今回のように子供たちを危険から見守るだけで精一杯になる。こちらからの提案は、ハンモックと竹細工で、市民の森を楽しんでもらうことができることを伝える。

<里山参加会員>小澤邦、小沼、吉井、小澤弘、石川、柳川、小嶋、松下、上見、鈴木

<活動写真>

